令和５年度 第１回

北広島市小学校給食運営委員会・北広島市中学校給食運営委員会 議事録

会 議 名	令和５年度第１回 北広島市小学校給食運営委員会・北広島市中学校給食運営委員会
日　　時	令和６年２月８日（木）午後５時３０分から午後６時３０分
会　　場	北広島市中央公民館１階研修室
出席委員	１　小学校給食運営委員（９名） ハンラティー委員、高橋委員、椿野委員、松原委員、速水委員、青木委員、工藤委員、中野委員、影久委員 ２　中学校給食運営委員（１２名） 今井委員、山口委員、髙橋委員、阿部委員、七宮委員、前田委員、倉井委員、越後谷委員、小阪委員、嶌田委員、上東委員、影久委員
欠席委員	１　小学校給食運営委員（４名） 中畑委員、中田委員、田中委員、春山委員 ２　中学校給食運営委員（１名） 小林委員
事 務 局	吉田教育部長、鹿野教育部理事、伊達防災食育施設整備担当参事 岡学校給食センター長、竹谷学校給食センター主査、中嶋学校給食センター主事、佐々木学校給食センター主事、 前川栄養教諭、鈴木栄養教諭、山下栄養教諭、吉田栄養教諭

1.　開会

（司会）

皆様、お疲れ様です。学校給食センター管理担当しております中嶋と申します。定刻になりましたので、ただ今より令和５年度第１回北広島市小学校・中学校給食運営委員会を開催いたします。

本委員会は、北広島市学校給食センター等設置条例第５条の規定に基づき設置されており、学校給食センター等の運営に関する事項についてご審議いただき、教育委員会に対して助言をいただく機関となっております。

どうぞよろしくお願いいたします。

2.　教育部長あいさつ

（司会）

次に会議次第の２番目、教育部長の吉田からご挨拶申し上げます。

（吉田教育部長）

こんばんは。教育委員会 教育部長の吉田でございます。

本日は委員の皆様におかれましては、お仕事の後、そしてご夕食の準備など、大変お忙しい中、お時間を割いていただき、誠にありがとうございます。

また日頃から、本市の教育行政及び学校給食の運営に、ご理解とご協力をいただいております事を、この場をお借りして感謝申し上げます。

さて、小中学校給食運営委員会は、コロナウイルス感染症対策等もあり、これまで書面開催で、皆様に学校給食の取組等をご報告、ご審議いただいてきたところでありますが、本日、４年ぶりに対面での開催をさせていただいたところであります。

現在、学校給食につきましては、本市も含め、全国的に光熱水費や食材等の高騰をはじめ、設備の老朽化、調理員や配送運転手の人材確保の難しさなど、様々な課題がございます。

学校給食は安全と安心が第一であり、大雪や暴風雪であっても、衛生管理の徹底を図り、所定の時間で調理・配送を終えることが求められております。

これからも学校給食を確実に提供できるよう、学校給食センター職員そして栄養教諭、調理や配送の受託会社と連携を図りながら、取組を進めてまいりたいと考えております。

本日の委員会では、これらの取組をご説明させていただくとともに、現在、大曲地区に建設を進めております、災害時の炊き出しや小学校給食の提供を行う「防災食育センター」の整備状況をご説明もさせていただきたく存じます。

結びになりますが、委員の皆様方の今後のますますの御活躍をご祈念いたしまして、簡単ではございますが、開会のご挨拶とさせていただきます。

3.　自己紹介

（司会）

次に会議次第の３番目、自己紹介に移ります。大変申し訳ございませんが、小学校運営委員のＡ委員から名簿順にお願いし、小学校の運営委員さん。

終わりましたら中学校の運営委員さん、最後に事務局の自己紹介という事でお願いしたく存じます。それでは、Ａ委員からお願いします。

（A 委員）

小学校 PTA の A です、子どもが３人おり全員小学生です。私の思い出を振り返っても子ども達の会話をとおしても、学校給食というのは生活の中で要というか、大切なものになっているかと思います。

子ども達は学校給食を楽しみにしている日も沢山あります。皆さまと一緒にこれからも美味しくて栄養たっぷりの、安心安全な学校給食を続けていけるよう考えていきたいと思います。どうもありがとうございます。

（B 委員）

医師会の B です。どうぞよろしくお願いいたします。

（C 委員）

小学校の校長 C です。よろしくお願いいたします。

（D 委員）

小学校の校長 D です。よろしくお願いいたします。

（E 委員）

小学校の教頭 E と申します。よろしくお願いいたします。

（F 委員）

こんばんは、小学校の教頭 E と申します。よろしくお願いいたします。

（G 委員）

小学校の保護者の G と申します。よろしくお願いいたします。

（H 委員）

小学校の PTA の H と申します。よろしくお願いいたします。

（I 委員）

市役所健康推進課の I と申します。よろしくお願いいたします。

（J 委員）
中学校の保護者のＪと申します。よろしくお願いいたします。

（K 委員）
病院のＫと申します。どうぞよろしくお願いいたします。

（L 委員）
中学校のＬと申します。よろしくお願いいたします。

（M 委員）
中学校のＭと申します。よろしくお願いいたします。

（N 委員）
中学校のＮと申します。よろしくお願いいたします。

（O 委員）
中学校のＯです。よろしくお願いいたします。

（P 委員）
中学校保護者のＰと申します。よろしくお願いいたします。

（Q 委員）
中学校保護者のＱです。よろしくお願いいたします。

（R 委員）
中学校保護者のＲです。よろしくお願いいたします。

---事務局全員から自己紹介あり----

4.　役員の選出

（司会）
　次に会議次第の４番目、役員の選出に移ります。
現在、両委員会共に委員長・副委員長が不在となっておりますので、正副委員長及び議長が選出されるまでの間、センター長の岡が議事を進めさせていただきます。

（岡センター長）

それでは、委員長、副委員長の選出を行います。北広島市学校給食センター等設置条例施行規則、第３条第１項に基づき、委員の互選により役員を選出することとなっております。委員の皆様からのご提案はございませんか。

------事務局一任の声あり------

只今、事務局一任のご提案がございましたので、そのとおり進めさせていただいてよろしいでしょうか。

------異議なしの声あり------

（岡センター長）

それでは、事務局から提案させていただきます。

まず小学校ですが、委員長は東部小学校校長の椿野委員、副委員長は北の台小学校校長の松原委員にお願いしたいと思います。

続きまして中学校ですが、委員長は西の里中学校校長の高橋委員、副委員長は広葉中学校校長の山口委員にお願いしたいと思います。

以上、提案させていただきましたが、ご異議ございませんでしょうか。

------異議なしの声あり------

ご異議ないようですので、提案どおり役員を選出させていただきます。

なお、議案の審議につきましては、それぞれの案件ごとに審議いただくこととし、本日の議長につきましては小学校給食運営委員会の委員長であります、東部小学校校長の椿野委員にお願いしたいと思います。

5.　議長あいさつ

（司会）

次に会議次第の５番目、議長をお願いします、東部小学校校長　椿野委員からご挨拶を頂戴したく存じます。

（議長）

皆さんこんばんは。小学校給食運営委員会の委員長に互選いただきました、東部小学校校長の椿野でございます。

本日は忌憚の無いご意見やご質問をいただければと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

（議長）

それでは、議事に沿って進めていきたいと思います。まず始めに、会議の成立について事務局に報告を求めます。

（司会）

本日は、小学校給食運営委員会は９人の委員、中学校給食運営委員会は１２人の委員が出席されておりますので、北広島市学校給食センター等設置条例施行規則第3条第4項の規定により、会議は成立することをご報告いたします。

なお、本日の運営委員会につきましては、北広島市情報公開条例第20条に基づき原則公開とさせていただきたいと考えております。

（議長）

ただ今の事務局の報告により、会議は成立いたしました。

6.　議案等

（議長）

続きまして、会議次第の６番目、議案等に入らせていただきます。

議案第１号「令和５年度 学校給食の運営等について」事務局からお願いします。

（竹谷主査）

学校給食センターの竹谷でございます。

それでは、私から議案のご説明をさせていただきますが、ご説明の前に学校給食の調理や配送などをとりまとめた動画をご用意しましたので、ご覧いただきたく存じます。

-----動画上映（約１０分）-----

（竹谷主査）

それでは、議案第１号「令和５年度 学校給食の運営等について」ご説明したく存じます。議案書の１ページから順にご説明させていただきます。

まず、はじめに、新型コロナウイルス感染症の位置づけが、令和５年５月８日から「５類感染症」となり、これまで制限されていた学校教育活動も概ね従来のとおりとなりましたが、インフルエンザなど感染症による学級閉鎖等も行われ、小中学校の学校行事にも変更が生じたことから、給食の提供体制にも一部変更が生じたところであります。

通常の学校生活と感染予防とのバランスを踏まえ、学校をはじめ関係機関と連携・協力のもと、安全安心な学校給食の提供及び食育の推進に取り組みました。

次に、安全安心な学校給食の提供についてでありますが、学校給食の献立は文部科学省が定める栄養価はもちろんのこと、季節や学校行事等も踏まえ、小学校２名、中学校２名の栄養教諭が作成、栄養士３名とともに調理管理にあたっております。主食は、小学校・中学校ともに、ご飯は週３回、パンは週１回、麺は週１回を基本とし、食材は地元産食材を計画的に使用するなど、鮮度や品質、産地などを勘案して選定を行っております。

次に、防災教育の推進として、令和５年９月１日からの防災週間を踏まえ、令和５年９月４日に市内小学校で実施の避難訓練と連携を図り、避難所での非常食を想定した防災給食を提供しました。

令和６年度は、小学校給食では、防災食育センターのおにぎり成型機で調理した「おにぎり」と「汁物」、中学校給食では「セルフおにぎり」と「汁物」などの提供を計画しています。

次に、地産地消の推進として、令和５年９月１２日には、道央農業協同組合、ブロッコリー生産部会様から道央産ブロッコリー７０キロをご寄贈いただき、和風ブロッコリーサラダとして小学校給食で提供するなど地産地消の推進に取り組みました。

引き続き関係機関と連携を進め、地元産食材の積極的な活用と安全安心な学校給食の提供に取り組んでまいります。

次に、令和５年度の物価高対策として、令和５年６月に開催された、第２回定例会において、食材やエネルギー等の物価高騰が継続する中、栄養バランスや献立数を保ち、安全で安心の学校給食の提供を行うため、国の交付金を活用し、学校給食の食材費として小学校給食分で約８００万円、中学校給食分で約５００万円を増額しました。

このことにより、保護者の負担を増やすことなく学校給食の提供を実施しているところであります。

次に、食育の推進についてでありますが、栄養教諭は市内の小中学校において、健全な食生活や食べることの大切さなど、食育の授業に取り組んでいます。

令和５年１２月６日には、昨年度に引き続き、東部小学校及び北の台小学校の食育の授業において、市内輪厚において有機野菜の栽培に取り組んでいる、北海道有機農業協同組合の佐々木様を講師にお招きするとともに、新鮮な有機ニンジンを児童に配付し試食を行いました。

次に、学校及び関係機関との連携についてでありますが、令和５年１１月２８日、JA 道央様から昨年度に引き続き、「う米蔵」５００キロをご寄贈いただき、中学校給食として提供しました。

また、令和６年３月１８日には、食育に関連する関係機関が、課題の共有や意見交換を行う、北広島市食育推進懇談会に栄養教諭及び学校給食センター職員が参加予定であります。

広葉中学校給食調理場では、昨年度に引き続き、西部中学校で収穫された、かぼちゃ「雪化粧」を２０玉、約５０キロご寄贈いただき、「揚げかぼちゃと豚肉のごまがらめ」として、令和５年１０月６日に西部中学校、緑陽中学校、広葉中学校に提供しました。

令和５年９月２日には、学校給食センター職員が北広島市総合防災訓練に参加し、建設中の防災食育センターでの災害時対応を想定し、炊き出し訓練に取り組みました。

また、令和５年１１月５日には、元気フェスティバル in きたひろしま 2023 に参加し、給食用の食器や調理器具、炊飯釜などの展示を行うとともに、防災食育センターの写真などを掲示しました。

（議長）

ありがとうございました。先ほどの映像も含め、今年度の学校給食全般の取り組みをご説明いただきました。

委員の皆様からご意見・ご質問等がございませんでしょうか。

------質疑応答なし-----

（議長）

それでは、議案第１号「令和５年度 学校給食の運営等について」をお諮りします。

議案第１号「令和５年度 学校給食の運営等について」を承認されます方は、拍手願います。

------拍手あり-----

（議長）

拍手多数であります。原案のとおり本案は承認されました。

（議長）

次に、議案第２号「令和６年度 学校給食にかかる予算等について」事務局からお願いします。

（竹谷主査）

それでは続けて、議案第２号　令和６年度 学校給食にかかる予算等についてご説明申し上げます。

まず、学校給食センターが関係する当初予算でありますが、令和６年度 973,273 千円、令和５年度は 3,263,070 千円であり、2,289,797 千円の減となっております。

この大幅な減につきましては、防災食育センター建設工事の終了見込に伴う事業費の減少が主な要因となっております。

なお、本資料では詳細をお示しできておりませんが、令和６年度２学期からの防災食育センター稼働に伴い、光熱水費など維持管理費などの大幅な増額が見込まれており、これらの費用につきましては増額要求をしているところであります。

次に、児童生徒及び教職員等に係る給食提供における食材購入費についてでありますが、児童数の減少と生徒の増加を勘案し積算を行ったところであり、小学校給食の賄材料費として 1,000 千円の減、中学校給食の賄材料費とし 2,994 千円の増を要求しているところであります。

次に、令和６年度の物価高対策についてでありますが、食料やエネルギー等の物価高騰の長期化を踏まえ、子育て世帯への支援策として学校給食費の値上の抑制など、保護者の負担を増やすことがないよう、令和５年度予算において、国の交付金を活用し、給食の食材費に補填することを計画しております。

令和６年２月１５日に開会予定の、令和６年第１回市議会定例会に補正予算案として小学校給食分として 10,723 千円、中学校給食分として 7,018 千円を提出する予定です。

また、お手元の参考資料をご覧ください、本市を含めた石狩管内５市の学校給食費の単価などを集約した資料となります。

江別市と千歳市におきましては、令和６年度に給食費の値上げを予定しておりますが、いずれも値上げ分は国の交付金や市の財源を活用し、実質的に保護者の負担を軽

減・抑制を図るとのことです。

本市、恵庭市、石狩市は、国の交付金等を活用し食材費に補填し、令和６年度は給食費単価の値上げを行わない予定であります。

このように、本市においても、これまで給食費の値上げを極力行わないよう、国の交付金等を活用し、食材費に補填し、保護者の負担は据え置きとしてきたところでありますが、今後も続くと思われる食材をはじめとする物価高の状況や、近隣市の給食費の値上げ傾向、国の交付金制度が今後いつまで存続するかなど、本市におきましても将来的には給食費の値上げということもあろうかと存じます。

これらの事を踏まえ今後も状況を注視してまいります。

（岡センター長）

補足の説明をさせていただきます。お手元に配付の石狩管内の５市の給食費の単価等でありますが、令和６年度において料金改定を予定しております、江別市さん、千歳市さんいずれも予定の段階であります。

いま現在の調査結果の段階であり、今後、各自治体において各種審議会や市議会での議論を経て正式決定するものと考えております。

本資料につきましては、現段階での参考資料とご理解いただき、お取り扱いにご留意いただきますようお願い申し上げます。

（議長）

ありがとうございました。主に予算に関する説明だったかと思います。委員の皆様からご意見・ご質問等がございましたら、挙手願います。

------質疑応答なし-----

（議長）

それでは、議案第２号「令和６年度 学校給食にかかる予算等について」をお諮りします。

議案第２号「令和６年度 学校給食にかかる予算等について」を承認されます方は、拍手願います。

------拍手あり-----

（議長）

拍手多数であります。原案のとおり本案は承認されました。

（議長）

次に、報告第１号「防災食育センターの整備状況について」事務局からお願いします。

（伊達参事）

防災食育施設整備担当の伊達でございます。

これまでの委員会での報告と重複するところがあると思いますがご了承ください。

報告第１号といたしまして「防災食育センターの整備状況について」ご説明させていただきます。

元日に発生いたしました令和６年能登半島地震では、多くの方々が、お亡くなりになりました。

未だに、多くの方が、不自由な避難生活を送られていると報じられております。

本市におきましては、災害に強いまちづくりの実現のため、防災食育センターの工事を進めております。

災害時には、炊き出しの実施や備蓄している非常食の提供を行うなど活動の拠点となる重要な施設となります。

また、平常時におきましては、防災訓練の会場として、加えて、防災や食育の学習の場として活用し、各種事業の拠点とすると共に、食物アレルギーにも対応した小学校給食を提供する施設となります。

建設地は、大曲２番地１で、国道３６号に面しており、消防署大曲出張所に隣接しております。

建物は、鉄骨造２階建、延べ床面積は約３，６００㎡で、重要度係数１．５を採用した耐震構造となっております。

令和４年７月から工事に着手しており、工事費として３１億円を投じているところであり、資料の８ページには、鳥観イメージ図や工事の状況写真として、外観写真や検収室などの内部写真を掲載しております。

野菜下処理室や上処理煮炊き調理室の上部は、一部ガラスとなっており、２階の防災食育ホールから見学できるようになっております。

工事の進捗率といたしましては、全体で８０％であり、５月末の完成に向け、現在は内装工事が終わった箇所から、各設備機器類の取り付け作業を行っているところであります。

今後のスケジュールといたしましては、６月中旬に引き渡しを受けたのち、厨房備品類や消耗品などを搬入し、７月上旬にはオープニング式典を行いたいと考えてお

ります。また、朝日町にあります学校給食センターは、令和６年度の１学期まで、小学校給食を調理した後の７月末に、引越しを行い、８月からは防災食育センターに移転する予定であります。

２学期からは、新しい防災食育センターから小学校給食を配送する予定であります。施設の完成後には、防災施設として災害時におきましては、おにぎり２個を１食として8,000食を３日間の炊き出しを行うため、低温室に１０kgの米を２４０袋、米庫・汁物具材庫には、乾燥味噌、乾燥具材を常時備蓄し、これらを小学校給食に食材として使用することにより、常に一定量を備蓄しておく、ローリングストックを行ってまいります。

その他の設備として、緊急遮断弁付受水槽７３．４㎥、非常用発電設備として２万５千リッターの地下タンクに灯油を常に１万リットル備蓄し、同様にLPガス４本を常時備蓄いたします。

資料の最後に、内部のイメージ図を掲載しております。既存の学校給食センターの３倍以上の広さとなり、施設内で炊飯ができるなど、より安心で安全な学校給食となるよう引き続き、整備を進めてまいります。

簡単ではございますが、以上で説明を終わります。

（議長）

ありがとうございました。お諮りする案件ではございませんが、委員の皆様からご意見・ご質問等がございましたらお願いいたします。

委員の皆様におかれましては、せっかくの機会でありますので、ご意見など頂戴できればと思います。

あと、私から１点ご質問させていただいてもよろしいでしょうか？

例えば、新センター完成前に給食運営委員を対象とした内覧会などの予定はありますでしょうか？

（伊達参事）

工事中は安全面などもあり対応が難しいかもしれませんが、建物の引き渡しを受けた後になりますが、ご覧いただける時期などを検討してみたいと思います。

（委員から）

防災食育センターと言う名前なので、炊き出しとか食料備蓄を行うとのことで、防災という名称がついているということで理解しましたが、食育というところでは２階

の見学ホールからの見学のほか、何かイメージされているものはあるのでしょうか。

（伊達参事）

食育という部分でございますが、教育の場の一つとして、児童の社会見学の場としての活用も考えております。

また、入学前のお子さんと保護者の方にご参加いただき、学校給食の試食をしていただく機会の提供、大人の方を対象とし学校給食の試食も行う大人の食育講座なども企画できるものと考えております。

（議長）

このほか、防災食育センターの関連でご質問はございませんか

（委員から）

炊き出し能力の部分で、自家発電機と蒸気ボイラー用の灯油１０キロリットルを備蓄するとありますが、これによって自家発電機をどれ位の時間、稼働させることができる想定になっているのでしょうか。

（伊達参事）

備蓄につきましては、炊き出しの炊飯に使用する水の量、その後、洗浄に使用する水の量を想定し３日間分を計画しているところであります。

自家発電機につきましては、７２時間、３日間稼働できる灯油の量を常時備蓄することとしております。

（議長）

ほかにご意見・ご質問等はございませんでしょうか。

特に無いようでございますので、以上をもちまして、報告第１号「防災食育センターの整備状況について」を終了させていただきます。

7. 閉　　会

（議長）

以上をもちまして、本日の議事は全て終了いたしますが。

運営面なども含め全体を通じて、ご意見・ご質問等ございましたら、挙手願います。

------質疑応答なし-----

（議長）

私の方からで恐縮ですが、コロナ禍以前には小学校運営委員会と中学校運営委員会を各々開催していたと思うのですが、次年度も合同開催が主になるのか、今後の見通しを教えていただければと思います。

（岡センター長）

コロナ禍以前、私が着任する数年前には小学校運営委員会と中学校運営委員会を各々開催していたと聞いております。

基本的には今後も合同での開催を基本と考えております、また、今後は市全体の考え方として公募の委員さんの参画という部分もございます。

今年の３月末をもって皆さまの任期は一旦満了という形となりますが、４月以降も何らかの形でお世話になっていきたいと考えておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

（議長）

若干、条例や規則などを変えなくてはならないということでしょうか。

（岡センター長）

準備の方は概ね終わっております。

（議長）

ありがとうございました。全ての日程を終了したいと思います。

事務局から連絡・報告等はありませんか。

（岡センター長）

特にございません。

（議長）

本日は皆様のご協力により、円滑に議事進行を進めることができました。

以上をもちまして第１回北広島市小学校・中学校給食運営委員会を終了させていただきます。ありがとうございました。

（司会）

椿野議長、ありがとうございました。

結びになりますが、教育部理事の鹿野からご挨拶申し上げます。

（鹿野理事）

改めまして、本日はお忙しいところ、お集まりいただきありがとうございました。

先ほど、防災食育センターの整備状況の中で、ご説明させていただきましたが、小学校給食は令和６年度２学期から、防災食育センターでの調理・提供開始となりますことから、配送ルートの変更をはじめ新たな施設での対応にあたり、様々な課題が生ずるものと考えております。

また、全国的に食材費の高騰、調理員、配送運転手の人材不足などの課題が生じている状況にあります。

次年度におきましても給食運営委員の皆様からこれらの諸課題に対して、また、先ほどの自己紹介の際にＡ委員からもお話いただいたように、今後も安全で安心、美味しい給食を提供するという課題に対応するため、協議の場やご意見を頂戴する機会をいただくことになろうかと存じます。

引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ、閉会のご挨拶とさせていただきます。

（司会）

皆様、本日は誠にありがとうございました。